

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-284789(P2003-284789A)

【公開日】平成15年10月7日(2003.10.7)

【出願番号】特願2002-91990(P2002-91990)

【国際特許分類第7版】

A 6 2 C 35/68

A 6 2 C 31/12

F 1 6 L 1/00

F 1 7 D 1/08

【F I】

A 6 2 C 35/68

A 6 2 C 31/12

F 1 6 L 1/00 D

F 1 7 D 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月22日(2005.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

閉鎖型ヘッドが設けられている消火配管と；該消火配管に、仕切り手段を介して接続され、かつ、閉鎖型ヘッドが設けられている延長配管と；を備えていることを特徴とする消火設備。

【請求項2】

消火配管に封入されている流体と、延長配管に封入されている流体とが異なることを特徴とする請求項1記載の消火設備。

【請求項3】

延長配管内の流体が、消火剤、又は、不凍液であることを特徴とする請求項2記載の消火設備。

【請求項4】

スプリンクラヘッドが設けられる消火配管と、該消火配管に接続され、閉鎖型ヘッドが設けられる延長配管とを備え；前記スプリンクラヘッド及び前記閉鎖型ヘッドがそれぞれ異なる用途の場所に設置されていることを特徴とする消火設備。

【請求項5】

仕切手段が、消火配管及び延長配管の径より大径の充填部と、該充填部に配設され、前記両配管を仕切る弁体と；を備えていることを特徴とする請求項1記載の消火設備。

【請求項6】

充填部が、弁体の詰まり防止網を備えていることを特徴とする請求項5記載の消火設備。

【請求項7】

充填部が、延長配管内に消火剤を充填するためのバルブを備えていることを特徴とする請求項5記載の消火設備。

【請求項8】

仕切手段が、延長配管に設けられた閉鎖型ヘッドの開放により、自動的に開弁する減圧開

放弁であることを特徴とする請求項1記載の消火設備。

【請求項9】

スプリンクラヘッドが設けられる消火配管と、該消火配管に接続され、ミストノズルが設けられる延長配管とを備え；前記スプリンクラヘッド及び前記ミストノズルは、それぞれ異なる圧力で消火水を放出することを特徴とする消火設備。